様式14 調査プロット到達経路情報

保	護林名	林小班名	プロット No.	調査年月日
荒尾山モミ	希少個体群保護林	荒尾山国有林 238 林班に小班	1	平成29年7月1日
現地調査	所属 いろは森林協	会 氏名 大林 保	☑主査・□植	生・□直径・☑樹高
実施者	所属 いろは森林協	会 氏名 小林 護	□主査・□植	生・☑直径・□樹高
現地調査を	所属 いろは森林協	会 氏名 中林 緑	□主査・☑植	直生・□直径・□樹高
実施した全員	所属	氏名	□主査・□植	生・□直径・□樹高

1 プロット位置

プロット中心座標 (世界測地系)	N: 35 度	39	分	17.51 秒	E: 139	度	44	分	40.50 秒	
---------------------	---------	----	---	---------	--------	---	----	---	---------	--

2 到達情報 写真番号は「様式16」、留意事項は「様式15」と一致させる

留意 様式 15 (鍵の有無(有の場合は所有者名及び連絡先)なし	
GPS 梢	幾種	GARMIN OREGON 450	
経路 車道名			写真 番号
集合星	写真	N: 35 度 39 分 20.23 秒 E: 139 度 44 分 33.84 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	1
林道之	ΛD	N: 35 度 39 分 50.23 秒 E: 139 度 44 分 26.84 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	2
駐車位	立置	N: 35 度 39 分 20.23 秒 E: 139 度 44 分 33.84 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	3
作業道	入口	N: 35 度 39 分 20.23 秒 E: 139 度 44 分 33.84 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	4
作業道 左/		N: 35 度 39 分 26.02 秒 E: 139 度 44 分 24.84 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	5
沢合	流	N: 35 度 39 分 27.97 秒 E: 139 度 44 分 10.42 秒 □なし ・□海保ビ-コン ・☑MSAS ・□GLONASS ・ □平均化 ・□後補正	6
時刻	1日目	行駐車 9:45 到着 10:30 調査了 12:55 帰駐車 13:3	3 0
24 時式	2日目	行駐車 : 到着 : 調査了 : 帰駐車 :	

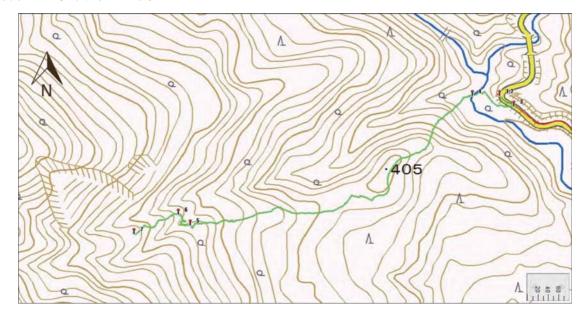
[・]GPS の補正機能は、実際に使用した機能を選ぶ(ビーコンを受信する機能があっても、計測時に受信できなかった場合は選ばない)。複数の機能を組み合わせることが望ましく、使用した全ての機能を記入する。

^{・1}地点の調査が2日にまたがる場合、2日目の行駐車から帰駐車までの時刻を「2日目」の欄に記入する(必ず1日ごとに行駐車と帰駐車を記入する)。

様式15 調査プロット到達経路情報(地図)

保護林名	林小班名	プロット No.	調査年月日
荒尾山モミ希少個体群保護林	荒尾山国有林 238 林班に小班	1	平成29年7月1日

詳細図(駐車位置から調査プロットまで)



- ※ 1/5,000 の地図を使用
- ※ 調査プロットへの到達の目標となる地物や経路を記入し、適宜、GPSの座標位置や写真番号 等を添える。(次回調査時に使用しますので、できるだけ詳しく書いてください。)
- ※ 既設歩道の有無等

概略図(市街地から駐車位置、調査プロットまで)



- ※ 1/20,000~1/25,000の地図を使用
- ※ 調査プロットの位置と経路を示す。適宜、GPSの座標位置や写真番号等を添える。
- ※ 鍵の位置等、様式 14 到達情報/留意事項の該当箇所を示す。
- ※ 路面状況(砂利、狭い、荒れている等)等

 $\blacksquare A$

🍰 B

€ E

■ F

∳ G

₩ I-1

☆ I-2

国 J シ V

♠ M

: 0

■ P

4 Q

■ R

様式16 調査プロット到達経路情報(写真)

保護林名	林小班名	プロット No.
荒尾山モミ希少個体群保護林	荒尾山国有林 238 林班に小班	1
調査年月日		
平成29年7月1日		2枚中 1枚目

調査年月日							l
平成29年7月1日					2枚中	1 枚目	
写真番号: 1 集合写真		a a		10 A			に 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
※1 写真の1枚目は、調査当日の 調査員の装備等が分かる集合写真 でする。 ※2 様式14、15の到達情報の 写真番号と一致させる。	1.1						
写真番号: 2 林道入口 			VI I				から出来
			1				The second second

写真番号:3 駐車位置



様式16 調査プロット到達経路情報(写真)

保護林名	林小班名	プロット No.
荒尾山モミ希少個体群保護林	荒尾山国有林 238 林班に小班	1
調査年月日		
平成29年7月1日		2枚中 2枚目

写真番号:4						
作業道入口						
	E		*			
※1 写真の1枚目は、調査当日の						
調査員の装備等が分かる集合写真	4					
とする。 ※2 様式 14、15 の到達情報の					15 16	
写真番号と一致させる。			13. 3			
		100			4.3	
写真番号:5				2000		







 \blacksquare C

IA E

FA C

H

₩ I-2

***** I-3

IJ

♠M

10

| Q

■ R

様式17 調査プロット情報

保護林名	林小班名	プロット No.	調査年月日
荒尾山モミ希少個体群保護林	荒尾山国有林 238 林班に小班	1	平成29年7月1日

1 地形概況

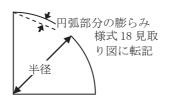
斜面方位	E	斜面傾斜	23	度
大 地 形	L	大 地 形	20	泛
局所地形	平坦地 ・ 平坦尾根 ・ やせ尾: 山腹平衡斜面 ・ 山脚侵蝕面 ・	根 · 山腹凸斜面 · 崖錐	山腹凸	印斜面

- ※ 斜面方位は斜面下方の方位を8方位で記載、大地形に基づく斜面方位とする。
- ※ 斜面傾斜は斜面方位の方向を計測。前回を書き写さず、毎回計測する。

2 プロットの半径



- ※ 最大傾斜に基づき右表の 半径を適応する。(8方位 とも同距離)
- ※ 中心杭、円周杭は現杭が5 年後まで保存不可能と判 断されれば更新する。更新 する際は、槌等で確実に新 杭を打設すること、必ず現 杭を回収廃棄すること。



具土傾 刻	半径	【斜距離】	(m)	円弧部分
最大傾斜 (゜)	小円	中円	大円	の膨らみ (m)
0 ~ 2	5.64	11.28	17.84	1.36
3 ~ 7	5.65	11.31	17.88	1.36
8 ~ 12	5.69	11.37	17.98	1.37
13 ~ 17	5.74	11.48	18.15	1.38
18 ~ 22	5.82	11.64	18.40	1.40
23 ~ 27	5.93	11.85	18.74	1.43
28 ~ 32	6.06	12.13	19.17	1.46
33 ~ 37	6.23	12.47	19.71	1.50
38 ~ 42	6.45	12.89	20.38	1.55
43 ~ 47	6.71	13.42	21.22	1.62
48 ~ 52	7.04	14.07	22.25	1.69

3 写真撮影確認

天 頂	磁北	磁東	磁南	磁西
✓	√	✓	√	1



